

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary
横浜旭ロータリークラブ



UNITE
FOR
GOOD
よいことのために手を取りあおう



ガールスカウトとクリーン作戦

2025-26年度 RI 会長／フランチエスコ・アレツォ
RI.D2590ガバナー／大塚 正一
横浜旭RC会長／五十嵐 正



第12回 チャリティコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836
TEL.080-1215-6668／FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3／4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2025年8月20日 第2588回例会 VOL.57 No.5 ガバナー公式訪問日

■司 会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 五十嵐 正

■斉 唱 我等の生業

SL 中島 徹

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	12名
本日の出席率	63.16%	修正出席率	84.21%

■本日の欠席者

中谷、宋、関口、関澤、岡田、二宮、草柳

■オンライン出席者 福村、佐藤（真）

■他クラブ出席者 五十嵐（地区）

■ビジター

大塚 正一様（第2590地区ガバナー、川崎北）

青木 理様（第2590地区第5ガバナー補佐、横浜南）

波木井輝昭様（地区副幹事、川崎北）

■ゲスト

藁科 良介様

（就労継続支援B型事業所 銀河 ブロック長）

■会長報告 五十嵐 正

皆さま、こんにちは。

本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

暦の上では立秋を過ぎましたが、まだまだ厳しい暑さが続いております。日本だけでなく世界各地でも異常気象が見られ、北欧では30度を超える日が続き、トナカイが暑さに耐えきれず倒れているという報道もありました。地球規模の気候変動を私たちはまさに実感しているのだと思います。どうぞ皆さま、体調を第一にお過ごしください。

さて、本日はガバナー公式訪問の日です。後ほど大塚ガバナーから、国際ロータリーの最新の動向や地区での活動についてお話をいただける予定です。ぜひ耳を傾け、私たちのクラブ活動に活かしていければと思います。

また、本日は防災エコバッグの制作をお願いしております就労継続支援B型事業所「銀河」より、ブロック長の藁科様にお越しいただいております。地域で障がいをお持ちの方々が社会とつながり、自立に向けて取り組んでおられる事業所であり、今回私たちのプロジェクトに力を貸していただけることに心から感謝申し上げます。

ここで一つ、ガバナーがお見えだからと

ということではありませんが、クラブの大切な課題について触れさせていただきます。

皆さまは「My Rotary」にご登録されていますでしょうか。

現在、横浜旭クラブの登録率はおおよそ50%です。つまり会員の半分の方は、まだアクセスできていないという状況です。

「My Rotary」と聞くと、何となく面倒そうだとか、登録しても特に使うことがないのではと思われる方もいらっしゃるかもしれません。私自身も最初はその一人でした。ですが、いざ登録してみると、実はとても身近で便利に使えることがわかりました。

例えば、

これまで自分が行った寄付の履歴やポイントが一目で分かります。自分の歩みを振り返るきっかけにもなります。

世界中のクラブの取り組みや最新情報を知ることができます。これは私たちの活動を考える上で大きなヒントになります。

研修資料や便利なツールが豊富に揃っており、会員教育やクラブの運営にそのまま役立ちます。

つまり「My Rotary」は、自分のロータリーライフを“見える化”してくれるツールなのです。

さらにもう一つ大事な点があります。

クラブ全体として登録率が高いことは、地区や国際ロータリーに向けて「私たちの活動をしっかり共有しています」というメッセージになります。データの厚みが増すことで、クラブとしての存在感や評価にもつながります。

現在50%という数字は、見方を変えれば大きなチャンスです。ちょうど「あと一歩」で過半数を超え、さらに仲間を巻き込みやすくなるタイミングでもあります。

登録そのものは、メールアドレスさえあれば数分で完了します。スマートフォンからでも可能ですし、分からない方はぜひ私にお声かけください。お手伝いさせていただきます。

「ロータリーは世界とつながる組織」です。その入り口が「My Rotary」です。

ぜひ皆さまも登録いただき、横浜旭クラブから新しい風を発信していければと思います。

それでは、本日も有意義で楽しい例会となりますよう、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■就労継続支援事業所銀河

ブロック長 藁科 良介様



▶銀河とは

◎精神障がい中心の就労継続支援B型事業所
◎「働く」ことを通して、「一人ひとりが輝く」ことを目指している。

◎一般企業への就職をすることが絶対的な目的ではなく、一人ひとりが「銀河で働く」ことで成長し、生活の質を上げ、社会との繋がりを深められるようになることを目的としている。

▶就労継続支援事業所の存在

・こういった精神障がいをお持ちの方の課題

に対して、障害者総合支援法に基づき、就労継続支援事業所が存在している。

・すぐに一般就職することが難しい方などに生活のリズムを整えながら就職を目指したり、自分のペースで就労訓練を積むことができる場である。

▶就労継続支援事業所の存在

精神障害者に対応した事業所の不足

～就労継続支援事業所は年々増えているが、課題あり～

◎存在している就労継続支援事業所は身体や知的障害を対象とした事業所がほとんど。特に古くからある事業所は、自社内のグループホームに住む知的障害者の居場所としての存在していることが多い。

◎精神に対応しているところが少ない。精神障がい者の方はもともと就労していた方が多く、従来の就労支援事業所は仕事内容が単一のことが多く、対応できていないケースが多い。
◎決まった仕事だけをもくもくとこなすことを求められるため、精神障害の方にはなじまない事業所が多い。

▶銀河の特徴（銀河のコンセプト）

★精神障がい者の支援を中心に行っている

★「働く」を通して、「一人一人が輝く」という理念を持っている。（単なる居場所ではなく、輝けるようになるサポートをしたい）

★銀河という名前は、宇宙の銀河に由来している。

私たちの支援で利用者の個性が輝き、彼らが集まることで、銀河のごとく社会に大きな良い影響を与えることを目的として名づけられた。

▶銀河のコンセプト

本人の望む未来に合わせて、仕事を通して能力を伸ばしたり、生きがいを感じられるようにする。

望む人には、一般職による社会復帰も支援する。

コンセプト①

通所スタイルを個人に合わせる

★生活のリズムを掴めるように、まずは起きて通所することに重きを置く。週1回から時間を気にせず利用できるため、精神的なプレッシャーを感じることなくマイペースに続けることができる。

★ペースを掴めてくると自身で体調や情緒の変化に気づかず無理をしてしまうことがあるため、「生活リズム表」を使って体調管理をする。

安定した生活を送るため、本人以上に職員がその方を理解することに努め、決して無理を強いることはしない。

コンセプト②

仕事も個人に合わせる

★ご利用者さま1人1人能力も違えば、特性も違う。やりたい仕事や興味も1人1人違って当たり前。

だから一律ではなく、様々な仕事を用意して個人が選べる状況を作っている。

やりたい仕事を継続することでそれは得意なコトになり、自信と誇らしくいきいきとした表情を生み出す。

【主な仕事内容】

DMや請求書などの封入れ・発送、化粧品や文房具などの箱詰め商品のシール貼り、ITチップの組立てや圧入作業、ボールペンや金属部品の組立、ゲーム機などの清掃作業、
・アクセサリ作り、お菓子の詰め合わせ、
・データ入力・パソコン解体など20種類以上
コンセプト③

人間関係を円滑に進めるプログラム

★ご利用者さまが社会参加でいきいきと輝くためには、人間関係と集団行動が上手にな

ることが大切。嫌なことや思うようにいかなかったときにそれを誰かのせいにしてしまったりすると人間関係は上手くいかなくなってしまう。

★銀河の決まり事をまとめた「銀河のルールブック」をご利用者さま一人一人に入所時にお渡し。

朝の朝礼でみんなで読み合わせをすることで、少しずつみんなの意識が変わり、人間関係が上手になり、集団行動ができるようになる。

事業所という小さな集団から始まり、徐々に社会の中で一人一人が輝けるように取り組んでいる。

▶銀河のビジョン

誰だって精神障がいを患う可能性はある。

自身やその家族がそうなった時に容易に銀河へアクセスできるようにインフラにする。

そうすることでもしもの時に困ることがなく、安心して暮らせる社会になる。

▶最近の活動

銀河は神奈川県全域に展開しており、現在23の拠点があります。地域との連携を深め、地域の課題課題解決に貢献していきたいと考えています。その第1歩として自立支援協議会様主催の販売会や、企業様主催のフリーマーケットでブースを出展し、銀河の利用者様が作成した自主製品を販売しています。10月に二俣川駅前で開催予定のマルシェにも出店予定です。

■ニコニコBOX

大塚 正一様（第2590地区ガバナー・川崎北RC）／本日は公式訪問にお伺いさせて頂きました。貴クラブの皆様のご支援とご協力を頂き地区50クラブと3アクトクラブの益々の発展の為に努力をしております。本日はよろしくお願い致します。

波木井輝昭様（地区副幹事・川崎北RC）／本日は

ガバナーのお供で参りました。どうぞよろしくお願い致します。

青木 理様（第5グループG補佐）／本日は大塚ガバナーのおともでお伺いさせて頂きました。宜しくよろしくお願い致します。

五十嵐 正／大塚ガバナーをお迎えして。本日はよろしくお願い致します。

安藤 公一／大塚ガバナーようこそお出で頂きました。本日はよろしくお願い致します。

新川 尚／大塚ガバナー、波木井地区副幹事、青木ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。

市川 慎二／大塚ガバナーをお迎えして。地区副幹事波木井様、ガバナー補佐青木様、本日はよろしくお願い致します。

藁科様ようこそお越し下さいました。

北澤 正浩／第2590地区大塚正一ガバナーはじめ、ご来場いただきました皆様、ようこそお越しくださいました。

増田嘉一郎／ガバナーをお迎えして。ご指導よろしくお願い致します。

目黒 恵一／第2590地区ガバナー川崎北RC大塚正一様をお迎えして。宜しくよろしくお願い致します。

■2025-26年度地区行動計画

「ロータリーの基本に根差した『ロータリーのビジョン声明』の追求」

地区ガバナー 大塚 正一様（川崎北RC）

▶自己紹介

大塚正一と申します。1957/1/1、熊本県生まれです。誕生日が1月1日で、かつ長男であったので、父親が「正一（しょういち）」と名付けました。

父親の仕事に都合で、3歳で上京し、小学校4年の時に横浜に引っ越してきました。

1969年 横浜市立大曾根小学校を卒業

1972年 横浜市立大綱中学校を卒業、卒業の

少し前に隣の地区の座間市に移りましたので、高校は相模原市にある東海大学附属相模高等学校に入学しました。この学校に入って良かったことは、やはり野球部が強いことです。毎年甲子園を楽しみにしています。この写真は去年の夏の甲子園の写真です。今年は決勝で横浜高校に負けてしまいましたので、非常に残念です。実は、高校に入学前に決めたことがあります。中学時代は卓球部に入りましたが、練習が厳しく夏休み前に退部してしまった経験から、高校では絶対に運動部に入ることです。

高校から始めても、スタートラインは皆同じ部活として、アーチェリー部に入部しました。4月に入部した60名が夏合宿の終わった時には10名に減っていました。昔ですから、練習という名前の「しごき」のひどかった時代の事です。

卒業後は、そのまま東海大学に行かず、他の大学を受験しましたが失敗、浪人している間にアメリカの大学に行こうと決心し、3年間アルバイトなどで資金を貯め、1978年に渡米、ボストン大学入学しました。そして一年後にマサチューセッツ州立大学に転校しました。しかし、次第に家賃や学費を支払う資金が底をつき、日本人レストランで、昼夜とアルバイトすることになり、アルバイトが忙しく大学には行けなくなりました。日本に帰れば、家賃や食事は実家に住むので払う必要はなくなるので、なんとかなるだろうと、2年半後に帰国を決意し、その年に上智大学外国語比較文化学科に入学しました。

上智の同期の仲間には、今、京都信用金庫の理事長をやっている榊田隆之氏は、いつも同じグループで遊んだりした仲間でした。

さて、自己紹介はこのくらいにして、本題に入ります。

今年2月に開催された国際協議会では、「ロー



タリーの行動計画」を継続して推進し、会員増強を成し遂げ、「ロータリーのビジョン声明」を達成する、ということで、「ロータリーの行動計画」をより具体的に実践するためにはどうしたらいいかということを経験形式の講義で学び、その後仲間同士でディスカッションするという形で話し合ってきました。

さて、ロータリーの行動計画」とは以下の4つの指針です。そのひとつずつを1日のテーマとして話し合いました。

- ・「より大きなインパクトをもたらす」（ここでの「インパクト」とは「持続的な有効性がある」という意味）
- ・「参加者の基盤を広げる」
- ・「参加者の積極的なかわりを促す」
- ・「適応力を高める」

これらは、ロータリーの中核的価値観「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」を会員に、そしてクラブに定着させ、かつ世界や地域社会で持続可能な変化を生むことを目指すために、ロータリーの会員が行動する指針です。それを再認識する目的が国際協議会でした。

国際協議会、初日のマリオ元RI会長エレクトが発表したスピーチは「会員増強と活性化に向けたロードマップ」ということで内容は以下のようなものでした。以下のような内容です。

- ① ロータリーの最大の財産は会員である。会員増強が何をおいても重要である。
- ② その最も価値ある財産（会員）を増やすには

Innovation, Continuity, & Partnership（革新、継続性、パートナーシップ）という3つの要素が不可欠。

③ Innovation, Continuity, & Partnershipにより成し遂げられた会員増強は、ロータリーを活性化させる。

④その活性化により生まれる団結が「ロータリーのビジョン声明」で目指す世界や地域社会で持続可能な良い変化を世界に生み出す。

しかし、マリオ RI 会長エレクトは6月初旬に突然辞任してしまいました。それを受けてフランチェスコ・アレツォ氏が新 RI 会長として就任されることが6月中旬に決まり、また、マリオ氏のメッセージである「Unite For Good（よいことのために手をとりあおう）」はそのまま継続と発表され、我々ガバナーエレクト（現ガバナー）は一安心！

そして新年度の始まる7月1日にアレツォ新 RI 会長の所信生命が発表されました。それはマリオ氏のメッセージに基づいた内容であり、Innovation, Continuity, & Partnershipを違う形で説明されています。マリオ氏がこの3要素の会員増強への必要性は十二分に語りましたので、どちらかというと精神面から、この3つの要素を語られています。

特に、パートナーシップについては、少しマリオ氏と異なりますし、最初にご自身の所信声明で語られています。

ロータリーの全ての活動において必要なものは、たった2つのことである、それは「友情」と「信頼」です。その「友情」と「信頼」の下に有意義なパートナーシップを築くことで、世界的な問題を各地域で解決へと導けます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮しましょう。

その後「ロータリーのビジョン声明」に言及

します。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。その説明の中で、変革、継続性について語っています。変革は、自分自身の中で、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まります。

また、継続性については次のように語られています。継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、未長いインパクトを生むことができます。今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。ロータリーを成長させるために、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れましょう、と声明を結ばれています。

私としては、マリオ氏のメッセージにロータリーの精神・心のような内容が欠けていたので、そこに少し不満を覚えていました。そこで自身の地区の年度方針に「ロータリーの根本に根差した」という言葉を敢えて入れました。新会長のアレツォ氏の所信声明は私の心にすんなりと入り、私のモヤモヤを解消してくれました。

さて、いよいよ2025-26年度地区行動計画（方針）を語らせていただきます。

まず、「ロータリーの基本」とは何か？

それは今は歴史的な文章という事になっている「決議23-34」であることに間違いありません。特に我々日本のロータリアンにとっては。「ロータリーは、1つの人生哲学であり、利己的欲求と利他の気持ちのバランスを調和するものである」という考え方です。そこには「超私の奉仕」と「最もよく奉仕する者、もっとも多く報いられる」というロータリーの大切な考え方（モッ

ト一) が述べられています。

そして、それを実践するための行動規範と方向性を示すのが、次の3つの文章です。

- ・ロータリーの目的 (旧「ロータリーの綱領」)
- ・四つのテスト
- ・ロータリーアンの行動規範

それらの文章の中で伝えられているロータリー哲学を具現化し、目指す方向性は「奉仕の理念」と「中核的価値観」(判断や意思決定の基準となる価値観)を大切にすることではないでしょうか。

- ・奉仕の理念: 他人のことを思いやり、他人のために尽くす (thoughtfulness of and helpfulness to others) (国際ロータリー初代事務総長、チェスレー・ペリー氏の言葉)
- ・中核的価値観: 親睦 (Fellowship)、高潔性 (Integrity)、多様性 (Diversity)、奉仕 (Service)、リーダーシップ (Leadership)

最後に、我々ロータリーアンにとって大切な考え、ロータリーの根幹は、職業奉仕の理念だと思います。

「奉仕の理念」を「他人への思いやりと助け合い」と理解すると、すなわち「ロータリーの目的」は次のように解釈することができます。それは「会社の基盤を支える基本姿勢(職業奉仕)として『他人への思いやりと助け合い』の気持ちを定着させ、その気持ちを力強く育てあげる」ということです。

では、職業奉仕とは何か? 非常に簡潔に説明している映像があります。

- ☑世界は誰かの仕事でできている
- ☑職業は関連し、世界に貢献!
- ☑他人のために、自分に自身に

職業奉仕に対する考えは様々ですので、皆さんそれぞれがお持ちの考えがあると思います。しかし、職業奉仕こそがロータリーの基本であると言っても、反対する方はいないと思います。

以上の事を「ロータリーの根本」として、それに根差して、以下の10項目を実行して頂きたいというのが今年度の地区活動方針としてのお願いです。

(注: より詳しくは、ガバナー月信の7月号の記事をご覧ください。地区のホームページの「年度方針」のページをご覧ください。)

①ロータリーの存在意義とロータリーの提供する機会の再認識:

社会に「ロータリー」という組織が存在できるのは何故かを探り、その組織の中で自分の存在意義、自身の立ち位置を見つけてください。自分が与えられているものは何か、与えることができるのは何かを考えると、すべてはそこから始まります。

特に提供する機会として、会員皆様に再認識して欲しいものとしては、ロータリー平和フェローシップ、ロータリー財団奨学生、米山記念奨学生、ロータリー青少年交換などのプログラムです。これは我々が外部の方々に提供しているものではありませんが、同時に我々がこれらのプログラムによってどのような受益が我々にあるのかを考えて欲しいと思います。

(会員増強については、8月号の月信に記載させていただきましたので、そちらをご覧ください。)

② My Rotary の登録: 登録することにより、いろいろな情報が手に入るようになります。My Rotary に登録するメリットは何か? 色々あります。それを見つけ出す、そのためにも、まずは登録し、利用してみてください。

③ロータリーの行動計画を指針とした3年目標(3-Year Rolling Goals)の設定・実施: ご理解とご協力をお願いします。8月より偶数月の5日にクラブサポートミーティングをオンラインで開催します。クラブ会長もしくは代表の方が必ず参加いただけるようお願いします。

④地区開催のイベントおよびラーニングセミナーに積極的に参加：地区大会、ポリオデー、RLI など

⑤ RI 主催のイベントに積極的に参加：ロータリー研究会、台北国際大会など

⑥青少年関係のイベントに積極的に参加：ロータリー財団奨学生や青少年交換学生の帰国報告会にぜひ参加ください。青少年交換学生の帰国報告会は、8月30日(土)に関内ホールにて14:00から開催されます。

⑦ロータリーの国際交流プログラムを支援：ロータリー財団への寄付、米山記念奨学会への寄付を例年通りお願いします。

⑧地区同好会へ積極的に登録・参加：お待ちしています。

⑨『ロータリーの友』の積極的な活用：公共イメージの向上およびクラブ内研修に役立たないでしょうか。是非、亀ヶ谷地区代表委員を卓話に呼んで「ロータリーの友」についてのお話を聴いてください。

⑩正しいロータリーロゴを、正しく使用：これ



がなかなか達成されません。ご協力ください。ルールは5つだけです。

以上の10項目をまとめると、①ロータリーを学び、②ロータリーに参加し、③ロータリーを支援し、④ロータリーを愉（楽）しみましょう、という4つのお願いになります。

地区やクラブの活動に進んで参加してください！

仲間が増え、よりロータリーが愉（楽）しめるはずです！

■次回例会

9/3 社会奉仕フォーラム 岡田会員

「地域社会におけるロータリアンとしての奉仕活動とは」

2025年度7月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	二 宮 麻 理 子	33	0	33
2	福 村 正	100	0	100	13	岡 田 隆	67	33	100
3	市 川 慎 二	100	0	100	14	佐 藤 真 吾	67	33	100
4	五十嵐 正	100	0	100	15	佐 藤 利 明	－出席規定免除－		
5	北 澤 正 浩	100	0	100	16	佐 藤 勉	67	33	100
6	草 柳 孝 広	33	0	33	17	関 口 大 樹	100	0	100
7	増 田 嘉 一 郎	－出席規定免除－			18	関 澤 信 吾	100	0	100
8	目 黒 恵 一	100	0	100	19	宋 謹 衣	0	0	0
9	中 島 徹	100	0	100	20	田 川 富 男	100	0	100
10	中 谷 逸 希	0	0	0	21				
11	新 川 尚	67	67	134	22				
例 会 日		2 日	9 日		3 0 日				平 均
例会出席率		$\frac{15}{19}$	78.95%	$\frac{13}{19}$	68.42%	$\frac{15}{19}$	78.95%		
修正出席率		$\frac{15}{19}$	78.95%	$\frac{15}{19}$	78.95%	$\frac{15}{19}$	84.21%		80.70%